

野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第8期(決算日2018年4月27日)

作成対象期間(2017年4月28日~2018年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2010年4月16日から2020年4月27日までです。	
運用方針	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰落 率			
4期(2014年4月28日)	円 12,921		円 630	% 31.6	% 95.9	% —	百万円 1,006
5期(2015年4月27日)	14,035		725	14.2	99.3	—	822
6期(2016年4月27日)	11,702		450	△13.4	96.6	—	1,304
7期(2017年4月27日)	13,844		700	24.3	92.5	—	1,526
8期(2018年4月27日)	15,947		800	21.0	95.4	—	2,488

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比率	株式 先物比率
		騰落	率		
(期首) 2017年4月27日	円 13,844		% —	% 92.5	% —
4月末	13,997		1.1	88.4	—
5月末	14,722		6.3	92.7	—
6月末	14,256		3.0	95.6	—
7月末	14,958		8.0	95.9	—
8月末	15,228		10.0	96.4	—
9月末	15,547		12.3	96.3	—
10月末	16,725		20.8	96.3	—
11月末	16,519		19.3	94.5	—
12月末	16,347		18.1	93.7	—
2018年1月末	17,290		24.9	90.5	—
2月末	17,632		27.4	93.7	—
3月末	17,005		22.8	93.5	—
(期末) 2018年4月27日	16,747		21.0	95.4	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組入比率	株先物比率	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落率			
4期(2014年4月28日)	円 14,310		円 700	% 35.3	% 99.2	% —	百万円 8,893
5期(2015年4月27日)	18,064		900	32.5	99.5	—	9,649
6期(2016年4月27日)	14,028		720	△18.4	96.3	—	6,095
7期(2017年4月27日)	16,839		880	26.3	93.2	—	5,983
8期(2018年4月27日)	19,332		1,000	20.7	95.6	—	7,665

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組入比率	株先物比率
		騰落	率		
(期首) 2017年4月27日	円 16,839		% —	% 93.2	% —
4月末	17,018		1.1	90.3	—
5月末	17,857		6.0	93.7	—
6月末	17,466		3.7	95.7	—
7月末	18,152		7.8	97.4	—
8月末	18,513		9.9	97.4	—
9月末	19,245		14.3	96.3	—
10月末	20,818		23.6	96.3	—
11月末	20,406		21.2	94.0	—
12月末	20,387		21.1	93.7	—
2018年1月末	20,774		23.4	92.2	—
2月末	20,941		24.4	93.7	—
3月末	20,037		19.0	93.5	—
(期末) 2018年4月27日	20,332		20.7	95.6	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：13,844円

期末：15,947円 (既払分配金(税込み)：800円)

騰落率：21.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首13,844円から期末15,947円になりました。

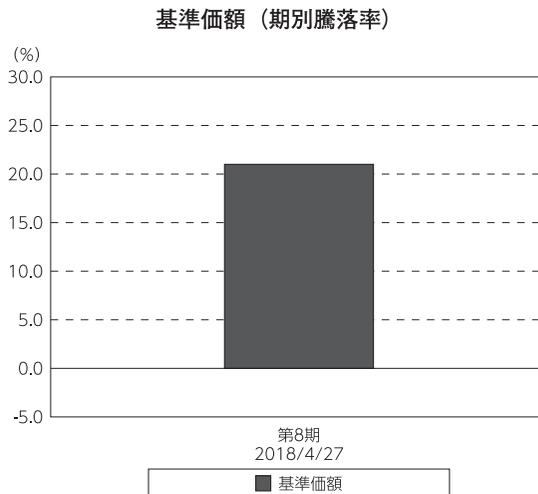
- ・2017年7月、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長が議会証言で利上げを急がない姿勢を示したことや、市場予想を上回る4-6月期の米企業決算などを受け、株式市場が上昇したこと。
- ・9月、米朝の軍事衝突への過度の警戒感が緩和したことや、トランプ米政権の税制改革案の発表が好感されたことから、株式市場が上昇したこと。
- ・10月、7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率などの米国の経済指標や同期の米企業決算が市場予想を上回ったことが好感されたことや、法人税率引き下げを含む米国の税制改革への期待の高まりなどを背景に、株式市場が上昇したこと。
- ・2018年3月、米国務長官の解任などを受けトランプ米政権の通商・外交政策への不透明感が高まったことや、米IT(情報技術)大手の個人情報流出問題などから、株式市場が下落したこと。

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり800円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第8期
	2017年4月28日～ 2018年4月27日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	4.777%
当期の収益	800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,947

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：16,839円

期末：19,332円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率： 20.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首16,839円から期末19,332円になりました。

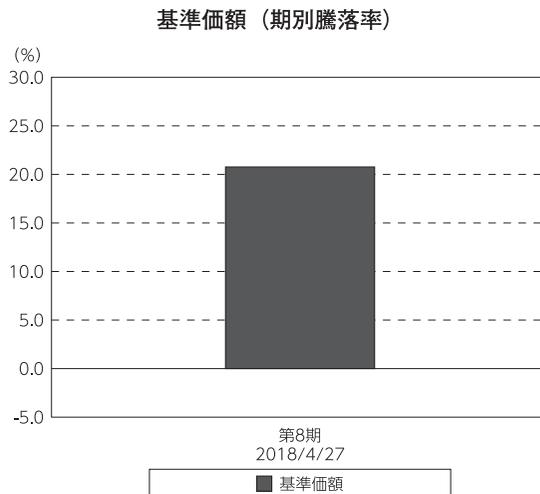
- ・2017年7月、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長が議会証言で利上げを急がない姿勢を示したことや、市場予想を上回る4-6月期の米企業決算などを受け、株式市場が上昇したこと。
- ・9月、米朝の軍事衝突への過度の警戒感が緩和したことや、トランプ米政権の税制改革案の発表が好感されたことから、株式市場が上昇したこと。また、北朝鮮を巡る地政学的リスクが和らいだことや、米利上げ観測の高まりを背景にドル高・円安となったこと。
- ・10月、7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率などの米国の経済指標や同期の米企業決算が市場予想を上回ったことが好感されたことや、法人税率引き下げを含む米国の税制改革への期待の高まりなどを背景に、株式市場が上昇したこと。
- ・2018年3月、米國務長官の解任などを受けトランプ米政権の通商・外交政策への不透明感が高まったことや、米IT(情報技術)大手の個人情報流出問題などから、株式市場が下落したこと。また、米通商・外交政策への不透明感の高まりから、ドル安・円高となったこと。

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第8期
	2017年4月28日～ 2018年4月27日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	4.918%
当期の収益	1,000
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,332

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、トランプ米政権による税制改革法案成立や米国における市場予想を上回る企業決算の発表などが好感され上昇しました。2018年に入り、株式の価格変動率が高まったことなどから投資家心理が悪化し、市場は大幅に下落したものの、期を通じては上昇となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース〕および〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース〕は、主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- ・バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、米国の半導体部品メーカーなどを新規に購入し、米国のソフトウェアメーカーなどを一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド]

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年4月28日～2018年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 303	% 1.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(171)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(120)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(12)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	10	0.065	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(10)	(0.065)	
(c) そ の 他 費 用	3	0.020	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	316	1.997	
期中の平均基準価額は、15,852円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2017年4月28日～2018年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 951,854	千円 2,675,999	千口 694,000	千円 1,986,710

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2017年4月28日～2018年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	10,907,948千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,876,077千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月28日～2018年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
為替先物取引	百万円 11,163	百万円 105	% 0.9	百万円 12,109	百万円 160	% 1.3

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
為替直物取引	百万円 3,606	百万円 -	% -	百万円 2,661	百万円 352	% 13.2

平均保有割合 23.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2018年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	633,941	891,795	2,598,423

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	2,598,423	96.2
コール・ローン等、その他	102,252	3.8
投資信託財産総額	2,700,675	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(10,555,380千円)の投資信託財産総額(10,626,217千円)に対する比率は99.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.35円、1香港ドル=13.94円、1ウォン=0.1018円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,010,641,935
コール・ローン等	102,179,576
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(評価額)	2,598,423,496
未収入金	2,310,038,863
(B) 負債	2,522,403,576
未払金	2,372,719,416
未払収益分配金	124,825,188
未払解約金	120,190
未払信託報酬	24,696,779
未払利息	197
その他未払費用	41,806
(C) 純資産総額(A-B)	2,488,238,359
元本	1,560,314,855
次期繰越損益金	927,923,504
(D) 受益権総口数	1,560,314,855口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,947円

(注) 期首元本額は1,102,763,647円、期中追加設定元本額は1,541,767,168円、期中一部解約元本額は1,084,215,960円、1口当たり純資産額は1,5947円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額56,516,178円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2017年4月28日～2018年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,228
支払利息	△ 7,228
(B) 有価証券売買損益	225,288,315
売買益	534,851,529
売買損	△ 309,563,214
(C) 信託報酬等	△ 42,204,232
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	183,076,855
(E) 前期繰越損益金	47,806,779
(F) 追加信託差損益金	821,865,058
(配当等相当額)	(585,048,732)
(売買損益相当額)	(236,816,326)
(G) 計(D+E+F)	1,052,748,692
(H) 収益分配金	△ 124,825,188
次期繰越損益金(G+H)	927,923,504
追加信託差損益金	821,865,058
(配当等相当額)	(585,946,805)
(売買損益相当額)	(235,918,253)
分配準備積立金	106,058,446

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年4月28日～2018年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年4月28日～ 2018年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	9,267,627円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	173,809,228円
c. 信託約款に定める収益調整金	821,865,058円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	47,806,779円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,052,748,692円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,747円
g. 分配金	124,825,188円
h. 分配金(1万口当たり)	800円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	800円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年1月19日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年4月28日～2018年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 369	% 1.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(208)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(146)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(15)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	13	0.066	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(13)	(0.066)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.019	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	386	1.997	
期中の平均基準価額は、19,301円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2017年4月28日～2018年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 762,726	千円 2,093,450	千口 512,055	千円 1,407,220

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2017年4月28日～2018年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド 10,907,948千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,876,077千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月28日～2018年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース>
該当事項はございません。

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	百万円 3,606	百万円 -	% -	百万円 2,661	百万円 352	% 13.2

平均保有割合 76.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2018年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	2,503,374	2,754,045	8,024,463

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	8,024,463	98.6
コール・ローン等、その他	112,825	1.4
投資信託財産総額	8,137,288	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(10,555,380千円)の投資信託財産総額(10,626,217千円)に対する比率は99.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.35円、1香港ドル=13.94円、1ウォン=0.1018円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,137,288,468
コール・ローン等	110,124,708
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(附属)	8,024,463,760
未収入金	2,700,000
(B) 負債	472,276,371
未払収益分配金	396,488,382
未払解約金	2,582,255
未払信託報酬	73,081,717
未払利息	212
その他未払費用	123,805
(C) 純資産総額(A-B)	7,665,012,097
元本	3,964,883,828
次期繰越損益金	3,700,128,269
(D) 受益権総口数	3,964,883,828口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,332円

(注) 期首元本額は3,553,633,626円、期中追加設定元本額は1,125,595,489円、期中一部解約元本額は714,345,287円、1口当たり純資産額は1,9332円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額56,516,178円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2017年4月28日～2018年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 28,904
支払利息	△ 28,904
(B) 有価証券売買損益	1,243,987,241
売買益	1,404,456,343
売買損	△ 160,469,102
(C) 信託報酬等	△ 138,849,832
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,105,108,505
(E) 前期繰越損益金	902,627,017
(F) 追加信託差損益金	2,088,881,129
(配当等相当額)	(1,317,041,797)
(売買損益相当額)	(771,839,332)
(G) 計(D+E+F)	4,096,616,651
(H) 収益分配金	△ 396,488,382
次期繰越損益金(G+H)	3,700,128,269
追加信託差損益金	2,088,881,129
(配当等相当額)	(1,318,159,926)
(売買損益相当額)	(770,721,203)
分配準備積立金	1,611,247,140

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年4月28日～2018年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年4月28日～ 2018年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	33,303,592円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,071,804,913円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,088,881,129円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	902,627,017円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,096,616,651円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,332円
g. 分配金	396,488,382円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	1,000円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年1月19日>

野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日2018年4月27日）

作成対象期間（2017年4月28日～2018年4月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
主な投資対象	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率			
4期(2014年4月28日)	16,417	37.4	96.5	—	10,141
5期(2015年4月27日)	22,159	35.0	99.7	—	10,446
6期(2016年4月27日)	18,390	△17.0	96.5	—	7,383
7期(2017年4月27日)	23,694	28.8	94.0	—	7,433
8期(2018年4月27日)	29,137	23.0	91.3	—	10,622

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2017年4月27日	23,694	—	94.0	—
4月末	23,959	1.1	90.8	—
5月末	25,189	6.3	94.3	—
6月末	24,671	4.1	96.2	—
7月末	25,683	8.4	97.8	—
8月末	26,236	10.7	97.5	—
9月末	27,314	15.3	96.4	—
10月末	29,600	24.9	97.0	—
11月末	29,053	22.6	94.6	—
12月末	29,064	22.7	94.0	—
2018年1月末	29,668	25.2	92.6	—
2月末	29,950	26.4	94.0	—
3月末	28,674	21.0	93.6	—
(期末) 2018年4月27日	29,137	23.0	91.3	—

* 騰落率は期首比です。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首23,694円から期末29,137円になりました。

- ・ 2017年7月、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が議会証言で利上げを急がない姿勢を示したことや、市場予想を上回る4－6月期の米企業決算などを受け、株式市場が上昇したこと。
- ・ 9月、米朝の軍事衝突への過度の警戒感が緩和したことや、トランプ米政権の税制改革案の発表が好感されたことから、株式市場が上昇したこと。また、北朝鮮を巡る地政学的リスクが和らいだことや、米利上げ観測の高まりを背景にドル高・円安となったこと。
- ・ 10月、7－9月期の実質GDP（国内総生産）成長率などの米国の経済指標や同期の米企業決算が市場予想を上回ったことが好感されたことや、法人税率引き下げを含む米国の税制改革への期待の高まりなどを背景に、株式市場が上昇したこと。
- ・ 2018年3月、米国務長官の解任などを受けトランプ米政権の通商・外交政策への不透明感が高まったことや、米IT（情報技術）大手の個人情報流出問題などから、株式市場が下落したこと。また、米通商・外交政策への不透明感の高まりから、ドル安・円高となったこと。

○当ファンドのポートフォリオ

- ・ **株式組入比率**
期を通じて概ね高位を維持しました。

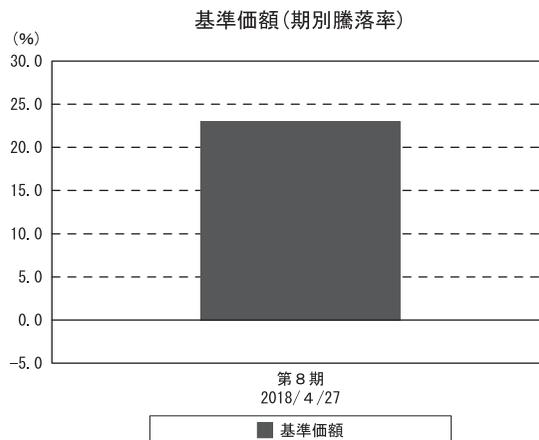
・期中の主な動き

- (1) 世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- (2) バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、米国の半導体部品メーカーなどを新規に購入し、米国のソフトウェアメーカーなどを一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○1万口当たりの費用明細

(2017年4月28日～2018年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	円 18 (18)	% 0.066 (0.066)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.016 (0.016) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	22	0.082	
期中の平均基準価額は、27,421円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年4月28日～2018年4月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 8,634	千米ドル 51,400	百株 10,930	千米ドル 45,123
	香港	303	千香港ドル 11,507	14	千香港ドル 542
	韓国	3	千ウォン 912,659	0.15	千ウォン 36,785

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

(2017年4月28日～2018年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	10,907,948千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,876,077千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月28日～2018年4月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,606	百万円 -	% -	百万円 2,661	百万円 352	% 13.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年4月27日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期	期末		業種等	
			株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ACACIA COMMUNICATIONS INC	98	—	—	—	通信機器	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	67	245	4,277	467,697	インターネットソフトウェア・サービス	
ALPHABET INC-CL A	32	39	4,089	447,216	インターネットソフトウェア・サービス	
AMAZON.COM INC	21	23	3,529	385,924	インターネット販売・通信販売	
APPLE INC	371	392	6,452	705,548	コンピュータ・周辺機器	
APPLIED MATERIALS	494	680	3,433	375,488	半導体・半導体製造装置	
BAIDU INC - SPON ADR	—	89	2,135	233,471	インターネットソフトウェア・サービス	
BOOKING HOLDINGS INC	—	6	1,436	157,029	インターネット販売・通信販売	
BROADCOM INC	—	104	2,415	264,184	半導体・半導体製造装置	
CARE.COM INC	164	200	311	34,058	インターネットソフトウェア・サービス	
CISCO SYSTEMS	—	316	1,400	153,128	通信機器	
COHERENT INC	—	92	1,524	166,693	電子装置・機器・部品	
CRITEO SA-SPON ADR	603	503	1,295	141,634	メディア	
EXPEDIA GROUP INC	90	—	—	—	インターネット販売・通信販売	
FACEBOOK INC-A	407	318	5,545	606,373	インターネットソフトウェア・サービス	
FINISAR CORPORATION	294	—	—	—	通信機器	
FIREEYE INC	445	—	—	—	ソフトウェア	
FORMFACTOR INC	214	261	359	39,333	半導体・半導体製造装置	
GIGAMON INC	364	—	—	—	ソフトウェア	
GROUPON INC	1,113	—	—	—	インターネット販売・通信販売	
HP INC	—	447	961	105,122	コンピュータ・周辺機器	
INTEL CORP	263	613	3,252	355,631	半導体・半導体製造装置	
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES	112	64	939	102,760	情報技術サービス	
LAM RESEARCH	—	168	3,215	351,653	半導体・半導体製造装置	
LENDINGCLUB CORP	1,330	—	—	—	消費者金融	
LUMENTUM HOLDINGS INC	349	160	829	90,685	通信機器	
MICROSOFT CORP	—	57	545	59,679	ソフトウェア	
MICRON TECHNOLOGY	783	956	4,797	524,595	半導体・半導体製造装置	
MICROSEMI CORP	254	311	2,013	220,166	半導体・半導体製造装置	
MULESOFT INC -A	8	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス	
NETAPP INC	—	163	1,104	120,794	コンピュータ・周辺機器	
NVIDIA CORP	—	61	1,380	150,968	半導体・半導体製造装置	
OKTA INC	3	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス	
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	1,293	996	2,366	258,823	半導体・半導体製造装置	
ORACLE CORPORATION	—	329	1,512	165,371	ソフトウェア	
PAYPAL HOLDINGS INC	261	304	2,313	253,032	情報技術サービス	
QUALCOMM INC	—	112	568	62,115	半導体・半導体製造装置	
SALESFORCE.COM INC	299	127	1,542	168,726	ソフトウェア	
SERVICENOW INC	86	78	1,295	141,682	ソフトウェア	
SKYWORKS SOLUTIONS INC	177	216	1,913	209,280	半導体・半導体製造装置	
SNAP INC-A	—	950	1,397	152,843	ソフトウェア	
SPLUNK INC	247	221	2,237	244,714	ソフトウェア	
SQUARE INC - A	740	—	—	—	情報技術サービス	
STMICROELECTRONICS NV-NY SHS	433	529	1,174	128,378	半導体・半導体製造装置	
SYMANTEC CORP	—	262	752	82,318	ソフトウェア	
THERADYNE INC	344	568	1,936	211,766	半導体・半導体製造装置	

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
TESLA INC	108	72	2,066	226,012	自動車	
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	64	250	1,303	142,569	インターネットソフトウェア・サービス	
TWITTER INC	1,653	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス	
II-VI INC	—	169	671	73,431	電子装置・機器・部品	
VANTIV INC - CL A	142	—	—	—	情報技術サービス	
VMWARE INC - CLASS A	—	98	1,305	142,763	ソフトウェア	
WESTERN DIGITAL CORP	182	—	—	—	コンピュータ・周辺機器	
YELP INC	492	602	2,688	293,949	インターネットソフトウェア・サービス	
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	430	526	1,098	120,155	半導体・半導体製造装置	
NIELSEN HOLDINGS PLC	219	—	—	—	専門サービス	
SEAGATE TECHNOLOGY	—	176	1,044	114,203	コンピュータ・周辺機器	
BROADCOM LTD	100	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,169 41	12,873 43	86,437 —	9,451,981 <89.0%>	
(香港)			千香港ドル			
TENCENT HOLDINGS LTD	—	289	11,045	153,975	インターネットソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	289 1	11,045 —	153,975 <1.4%>	
(韓国)			千ウォン			
SAMSUNG ELECTRONICS	—	3	951,555	96,868	コンピュータ・周辺機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	3 1	951,555 —	96,868 <0.9%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,169 41	13,165 45	— —	9,702,824 <91.3%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2018年4月27日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円 9,702,824	% 91.3
コール・ローン等、その他	923,393	8.7
投資信託財産総額	10,626,217	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (10,555,380千円) の投資信託財産総額 (10,626,217千円) に対する比率は99.3%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.35円、1香港ドル=13.94円、1ウォン=0.1018円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月27日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	11,281,579,898
コール・ローン等	911,444,264
株式(評価額)	9,702,824,910
未収入金	666,665,614
未取配当金	645,110
(B) 負債	658,620,136
未払金	655,920,000
未払解約金	2,700,000
未払利息	136
(C) 純資産総額(A-B)	10,622,959,762
元本	3,645,841,115
次期繰越損益金	6,977,118,647
(D) 受益権総口数	3,645,841,115口
1万口当たり基準価額(C/D)	29,137円

(注) 期首元本額は3,137,315,810円、期中追加設定元本額は1,714,581,081円、期中一部解約元本額は1,206,055,776円、1口当たり純資産額は2,9137円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース 2,754,045,976円
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース 891,795,139円

○損益の状況 (2017年4月28日～2018年4月27日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	51,049,342
受取配当金	48,940,205
受取利息	2,090,417
その他収益金	95,891
支払利息	△ 77,171
(B) 有価証券売買損益	1,764,379,397
売買益	2,337,721,107
売買損	△ 573,341,710
(C) 保管費用等	△ 1,475,256
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,813,953,483
(E) 前期繰越損益金	4,296,171,469
(F) 追加信託差損益金	3,054,867,919
(G) 解約差損益金	△2,187,874,224
(H) 計(D+E+F+G)	6,977,118,647
次期繰越損益金(H)	6,977,118,647

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年1月19日>

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2018年4月27日現在)

年 月	日
2018年4月	－
5月	1、10、21、28、31
6月	－
7月	4
8月	－
9月	3
10月	3
11月	12、22
12月	25、26

※ 2018年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。